

1

人口 · 自然



人口

1-01

1位 横浜市

指標 2018年4月1日現在の神奈川県人口は916万1113人です。

県内市町村では、横浜市が373万1706人で最も多く、次いで川崎市が150万9887人、相模原市が72万2334人の順となっています。

2017年10月1日現在の人口推計結果と比べると、横浜市は静岡県（367万5千人）、川崎市は沖縄県（144万3千人）、相模原市は高知県（71万4千人）と同じくらいの人人口です。

この統計は [神奈川県人口統計調査][人口推計]

用語 人口

神奈川県人口統計調査や人口推計の結果は、平成27年国勢調査結果を基礎として、国勢調査の実施間のある時点での人口を推計したものです。

国勢調査における人口は、調査年の10月1日午前零時現在、常住している場所で調査した人口をいいます。

日本国内に常住していれば外国籍を有する者も、基本的に調査の対象ですが、外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族や、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族は除外しています。

人口密度（1km²あたり）

1-02

1位 川崎市

指標 2018年4月1日現在の神奈川県人口密度は3792人/km²です。

県内市町村で人口密度が最も高いのは川崎市で1万558人/km²、最も低いのは清川村で44人/km²です。

平成27年国勢調査での全国平均は340.8人/km²です。県内の多くの市町村は、全国平均と比べると人口密度が高くなっています。

この統計は [神奈川県人口統計調査][平成27年国勢調査]

用語 人口密度

人口密度＝市町村別人口／市町村別面積

統計情報 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査[県統計センター]

公表日：毎月末 公表周期：毎月

平成27年国勢調査結果（確定数）を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。

人口性比（女性100人に対する男性の数）

1-03

1位 愛川町

指標 2018年4月1日現在の神奈川県人口性比は99.46です。人数で比較すると女性の方が2万4647人多くなっています。

県内市町村で男性の割合が最も高いのは愛川町で108.73、女性の割合が最も高いのは湯河原町で86.84となっています。

県内33市町村のうち、男性の方が多いのは12市町村、女性の方が多いのは21市町村です。

この統計は [神奈川県人口統計調査]

用語 人口性比

人口性比とは女性100人に対する男性の数をいいます。

$$\text{人口性比} = \frac{\text{男性人口}}{\text{女性人口}} \times 100$$

人口増減率（自然増減率・社会増減率）

1-04

1-05

人口増減率 1位 開成町

1-06

指標 2017年の神奈川県人口増加率は0.17%です。県内市町村で人口増加率が最も高いのは開成町で1.08%、最も低いのは山北町で-2.51%です。15市町村が増加し、18市町村が減少しました。

神奈川県自然増加率は-0.12%です。県内市町村で自然増加率が最も高いのは川崎市で0.20%です。30市町村で死亡者数が出生児数を上回る自然減少となり、3市町村で自然増加となりました。

神奈川県社会増加率は0.29%です。県内市町村で社会増加率が最も高いのは開成町で1.11%です。23市町村で転入者が転出者を上回る社会増加となり、10市町村で転出者が転入者を上回る社会減少となりました。

この統計は [神奈川県人口統計調査]

用語 人口増減率、自然増減率、社会増減率

- ・人口増減率＝人口増減数／期首人口
- ・自然増減率＝（出生児数－死亡者数）／期首人口
- ・社会増減率＝（入国超過数＋市町村間転入超過数）／期首人口

※入国超過数＝入国者数－出国者数

市町村間転入超過数＝市町村間転入者数－市町村間転出者数

統計情報 人口推計

人口推計（平成29年10月1日現在）[総務省統計局]

公表日：2018.4.13

国勢調査による人口を基礎（基準人口）として、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て、毎月1日現在の人口を算出しています。また、このうち、各年10月1日現在の人口については、全国及び都道府県別人口を算出しています。

市町村・地域名	人口		人口密度 (1km ² 当たり)		人口性比 (女性=100)		人口増減率		自然増減率		社会増減率	
	2018年 値	1-01 順位	2018年 値	1-02 順位	2018年 値	1-03 順位	2017年 値	1-04 順位	2017年 値	1-05 順位	2017年 値	1-06 順位
神奈川県	9,161,113		3,792		99.46		0.17		-0.12		0.29	
横浜市	3,731,706	1	8,528	3	98.80	17	0.05	14	-0.11	10	0.16	19
川崎市	1,509,887	2	10,558	1	102.73	7	0.92	2	0.20	1	0.72	3
横須賀市	722,334	3	2,196	17	100.15	12	0.17	10	-0.13	11	0.30	15
相模原市	397,736	5	3,945	9	99.13	15	-0.78	28	-0.56	22	-0.23	29
平塚市	257,962	6	3,804	10	100.46	11	0.09	13	-0.32	16	0.42	12
鎌倉市	172,194	11	4,341	8	89.06	30	-0.09	16	-0.57	23	0.48	9
藤沢市	429,317	4	6,171	6	97.72	19	0.48	5	-0.03	4	0.51	8
小田原市	191,325	10	1,681	21	94.85	24	-0.58	24	-0.45	18	-0.14	28
茅ヶ崎市	241,532	7	6,766	5	94.97	23	0.33	7	-0.14	12	0.47	10
逗子市	57,218	17	3,311	13	87.66	32	-0.41	21	-0.60	25	0.19	18
三浦市	43,469	19	1,356	23	92.29	27	-1.63	31	-0.98	30	-0.65	31
秦野市	165,560	12	1,596	22	104.77	4	-0.31	19	-0.27	14	-0.04	24
厚木市	225,194	9	2,400	16	107.00	2	0.13	12	-0.10	7	0.23	17
大和市	235,357	8	8,688	2	99.91	13	0.53	4	0.01	3	0.52	7
伊勢原市	102,416	15	1,843	19	102.88	6	0.33	8	-0.07	6	0.39	14
海老名市	131,950	13	4,962	7	101.41	9	0.55	3	0.03	2	0.53	6
座間市	129,387	14	7,364	4	99.67	14	0.34	6	-0.11	9	0.44	11
南足柄市	42,427	20	550	28	97.09	20	-0.53	23	-0.47	19	-0.06	25
綾瀬市	84,039	16	3,796	11	103.56	5	-0.14	17	-0.24	13	0.10	23
葉山町	31,902	22	1,872	18	89.69	29	-0.38	20	-0.53	21	0.15	20
寒川町	48,138	18	3,609	12	102.71	8	0.16	11	-0.10	8	0.27	16
大磯町	31,504	23	1,834	20	95.45	22	0.03	15	-0.57	24	0.60	4
二宮町	27,947	24	3,078	14	92.87	26	-0.70	26	-0.63	26	-0.07	26
中井町	9,483	31	474	29	101.12	10	-0.74	27	-0.66	27	-0.08	27
大井町	16,941	27	1,178	24	99.02	16	0.25	9	-0.28	15	0.54	5
松田町	10,962	29	290	30	97.83	18	-0.62	25	-0.76	28	0.15	21
山北町	10,017	30	45	32	96.22	21	-2.51	33	-1.31	31	-1.20	32
開成町	17,596	26	2,686	15	94.65	25	1.08	1	-0.03	5	1.11	1
箱根町	11,433	28	123	31	91.67	28	-0.42	22	-1.42	33	1.00	2
真鶴町	6,991	32	992	26	87.83	31	-1.30	30	-0.97	29	-0.34	30
湯河原町	24,263	25	592	27	86.84	33	-0.93	29	-1.33	32	0.40	13
愛川町	39,788	21	1,161	25	108.73	1	-0.28	18	-0.42	17	0.14	22
清川村	3,138	33	44	33	104.83	3	-1.88	32	-0.53	20	-1.35	33
横浜地域	3,731,706	1			98.80	4	0.05	4	-0.11	3	0.16	4
川崎地域	1,509,887	3			102.73	1	0.92	1	0.20	1	0.72	1
横須賀三浦地域	702,519	5			94.75	6	-0.62	6	-0.59	6	-0.03	6
県央地域	1,571,187	2			101.54	2	0.23	2	-0.11	2	0.34	3
湘南地域	1,304,376	4			99.02	3	0.21	3	-0.17	4	0.38	2
県西地域	341,438	6			94.77	5	-0.55	5	-0.57	5	0.02	5

(1-01~06 神奈川県人口統計調査)

注釈

1-01~03

1) 2018年4月1日現在の値。

1-04~06

1) 2017年中の値。

2) 端数を含めた値の大小比較により順位を設定している。

3) 社会増減の転入・転出には、県内市区町村間の移動を含む。

平均寿命

男女ともに1位 鎌倉市、開成町

1-07
1-08

指標 2015年の神奈川県の前平均寿命は男性が81.3年、女性が87.3年です。

県内市町村で平均寿命が最も長いのは男女ともに鎌倉市と開成町で、男性が82.1年、女性が87.9年です。

全国の前平均寿命は男性が80.75年、女性が86.99年です。県内市町村の多くが、全国前平均を上回っています。

全国の前市区町村別前平均寿命では、男性の前平均寿命が最も長いのは横浜市青葉区で83.3年でした。上位10市区町村には、第2位に川崎市麻生区(83.1年)、第4位に横浜市都筑区(82.7年)、第10位に川崎市宮前区(82.4年)と、神奈川県から4市区町村がランクインしています。

女性の前平均寿命が最も長い市区町村は、沖縄県北中城村で89.0年でした。上位10市区町村には、第4位に川崎市麻生区(88.6年)、第6位に横浜市都筑区(88.5年)、第9位に横浜市青葉区(88.5年)、第10位に川崎市宮前区(88.4年)と神奈川県から4市区町村がランクインしています。

この統計は [平成27年市区町村別生命表] [第22回生命表(完全生命表)]

用語 平均余命、平均寿命

平均余命とは、x歳の者がx歳以降に生存すると期待される年数の前平均を、「x歳における平均余命」といいます。

特に0歳における平均余命を、「平均寿命」といいます。



統計情報 市区町村別生命表

平成27年市区町村別生命表 [厚生労働省]
公表日: 2018.4.17 公表周期: 5年ごと
生命表とは、各年齢の者が死亡する確率や平均してあと何年生きるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標によって表したものです。ほかに、全国単位の「完全生命表」「簡易生命表」、都道府県単位の「都道府県別生命表」があります。

婚姻率 (人口1000人当たり)

1位 川崎市

1-09
1-10

離婚率 (人口1000人当たり)

1位 綾瀬市

指標 2016年の神奈川県の前人口1000人当たりの婚姻率は5.11です。県内市町村で婚姻率が最も高いのは川崎市で6.72です。

2016年の神奈川県の前人口1000人当たりの離婚率は1.71です。県内市町村で離婚率が最も高いのは綾瀬市で2.14です。

この統計は [平成28年神奈川県衛生統計年報][神奈川県人口統計調査]

用語 婚姻率、離婚率

前年の婚姻届出件数、離婚届出件数を10月1日現在の日本人人口で割ったものです。

婚姻率 = 年間婚姻届出件数 / 日本人人口 × 1000

離婚率 = 年間離婚届出件数 / 日本人人口 × 1000

ここでいう婚姻届出件数及び離婚届出件数は、各年1月1日から同年12月31日までの間に、市区町村長に届出のあった件数をいいます。

合計特殊出生率

1位 開成町

1-11

指標 2016年の神奈川県の前合計特殊出生率は1.31です。県内市町村で合計特殊出生率が最も高いのは開成町で1.48、最も低いのは中井町で0.78です。

この統計は [平成28年神奈川県衛生統計年報][神奈川県人口統計調査]

用語 合計特殊出生率

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の前年齢別出生率を合計したもの」で、1人の女性がその年齢別出生率で一前生に間に産むとしたときの子どもの数に相当します。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいます。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{前年の母の前年齢別出生数}}{\text{10月1日現在前年齢別女性人口}} ※$$

※15歳から49歳までの合計

統計情報 人口動態統計

平成28年人口動態統計(確定数) [厚生労働省]
公表日: 2017.9.15 公表周期: 毎年
「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。この統計は、年間推計、速報、月報(概数)、月報年計(概数)、年報(確定数)の5種類があります。

市町村・地域名	平均寿命 (男性)		平均寿命 (女性)		婚姻率 (人口1000人当たり)		離婚率 (人口1000人当たり)		合計特殊出生率	
	2015年 値	1-07 順位	2015年 値	1-08 順位	2016年 値	1-09 順位	2016年 値	1-10 順位	2016年 値	1-11 順位
神奈川県	81.3		87.3		5.11		1.71		1.31	
横浜市	81.5	12	87.3	14	5.13	3	1.71	16	1.29	15
川崎市	81.1	20	87.6	4	6.72	1	1.65	17	1.36	10
相模原市	81.2	16	87.4	8	4.64	9	1.88	8	1.24	20
横須賀市	80.6	28	86.7	28	4.30	13	1.89	5	1.34	12
平塚市	81.2	16	87.1	17	4.26	14	1.72	14	1.24	21
鎌倉市	82.1	1	87.9	1	3.77	20	1.54	24	1.25	19
藤沢市	81.9	4	87.6	4	5.00	6	1.58	20	1.42	4
小田原市	80.5	31	86.9	24	4.40	12	1.72	15	1.22	22
茅ヶ崎市	81.9	4	87.7	3	4.44	11	1.78	11	1.39	8
逗子市	81.7	7	87.3	14	3.79	18	1.51	25	1.40	7
三浦市	80.4	33	86.9	24	3.74	21	1.57	21	1.11	29
秦野市	81.5	12	87.3	14	3.48	24	1.58	19	1.19	25
厚木市	81.2	16	86.4	32	4.55	10	1.82	10	1.33	13
大和市	81.0	22	87.1	17	5.88	2	1.89	7	1.38	9
伊勢原市	81.7	7	87.4	8	5.08	4	1.33	28	1.31	14
海老名市	82.0	3	87.4	8	4.84	7	1.43	27	1.41	5
座間市	80.6	28	86.7	28	5.06	5	1.86	9	1.22	24
南足柄市	81.6	9	87.0	20	3.57	22	1.73	13	1.22	23
綾瀬市	80.6	28	86.8	27	4.06	16	2.14	1	1.29	16
葉山町	81.6	9	87.6	4	3.21	25	1.56	23	1.41	6
寒川町	81.2	16	87.0	20	4.09	15	2.02	3	1.25	18
大磯町	81.9	4	87.4	8	2.92	29	1.14	33	1.36	11
二宮町	81.6	9	87.4	8	3.04	27	1.27	29	1.26	17
中井町	81.0	22	87.6	4	2.61	32	1.57	22	0.78	33
大井町	80.9	24	87.0	20	3.48	23	1.48	26	1.42	3
松田町	81.1	20	87.0	20	2.71	31	1.63	18	1.46	2
山北町	81.3	15	86.7	28	2.87	30	1.24	31	0.96	32
開成町	82.1	1	87.9	1	4.68	8	1.73	12	1.48	1
箱根町	80.9	24	87.1	17	3.78	19	1.20	32	1.05	30
真鶴町	80.7	26	86.7	28	3.21	26	2.09	2	1.12	28
湯河原町	80.7	26	86.9	24	3.04	28	1.91	4	1.02	31
愛川町	80.5	31	86.4	32	3.86	17	1.89	6	1.16	27
清川村	81.5	12	87.4	8	2.20	33	1.25	30	1.17	26

横浜地域				5.13	2	1.71	3	
川崎地域				6.72	1	1.65	5	
横須賀三浦地域				4.04	5	1.74	2	
県央地域				4.81	3	1.85	1	
湘南地域				4.44	4	1.62	6	
県西地域				3.97	6	1.69	4	

(1-07~08 平成27年市区町村別生命表、1-09~11 平成28年神奈川県衛生統計年報)

統計情報 神奈川県衛生統計年報

平成28年神奈川県衛生統計年報
 [県健康医療局健康増進課]
 公表周期：毎年
 左記の人口動態統計のほか、平均余命、医療施設・病院報告、医師・歯科医師・薬剤師調査、衛生行政報告例等、各種統計の神奈川県分を取りまとめた年報です。

注釈

1-07, 08

- 1) 2016年12月31日時点の市町村別に作成。
- 2) 端数処理について、小数点以下第2位で四捨五入したものを表章している。

1-09, 10

- 1) 率の算出には「神奈川県人口統計調査」(2016年10月1日現在)の人口を用いた。

1-11

- 1) 算出には、「神奈川県年齢別人口統計調査」(2016年1月1日現在)の年齢(各歳・5歳階級)別、男女別人口を用いた。

外国人数

1位 横浜市

1-12
1-13

指標 2018年1月1日現在の神奈川県外国人数は19万8504人です。県民の約46人に1人が外国籍県民となっています。

県内市町村で最も外国人が多いのは横浜市で9万1440人です。

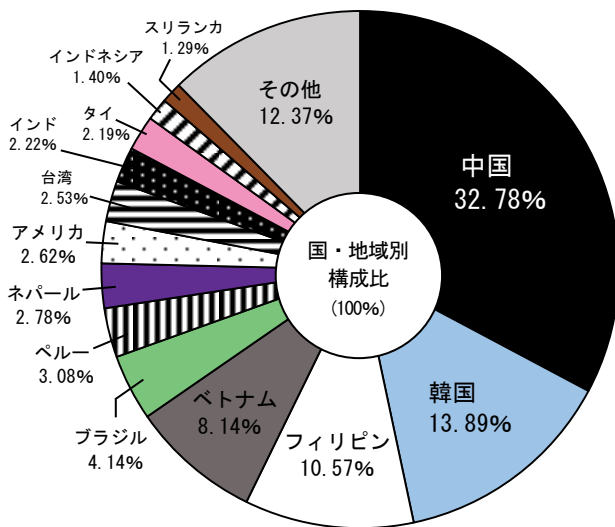
県内外国人の構成比を国・地域別にみると、県全体では中国が6万5065人で全体の32.78%を占め、以下、韓国、フィリピン、ベトナム、ブラジルと続いています。

県内市町村別にみると、横浜市をはじめとする18市町村で、中国の構成比が最も高くなっています。また、フィリピンの構成比が最も高いのが5市町村となっており、中井町では外国人の65.79%を占めています。

県内地域別にみると、多くの地域で中国の構成比が最も高くなっていますが、横須賀三浦地域のみフィリピンが21.03%と最も高くなっています。

この統計は [県内外国人統計]

県内外国人の国・地域別構成比(2018年1月1日現在)



この統計は [県内外国人統計]

統計情報 県内外国人統計

県内外国人統計(2018(平成30)年1月1日現在)
[県国際文化観光局国際課]
公表日: 2018.3.23 公表周期: 毎年
平成24年7月に出入国管理及び難民認定法等が改正されて、新しい在留管理制度が導入されました。これにより、外国人も住民基本台帳法の対象となったことから、住民基本台帳上の神奈川県内の外国人数を集計しています。

昼夜間人口比率

(夜間人口を100とした場合の昼間人口) 1位 箱根町

1-14

指標 2015年10月1日現在の神奈川県昼夜間人口比率は91.20です。

県内市町村で昼夜間人口比率が最も高いのは箱根町で151.48です。全国の市区町村別順位をみると、箱根町は29番目に昼夜間人口比率が高くなっています。

県内市町村で昼夜間人口比率が最も低いのは二宮町で73.34です。全国の市区町村別順位でも、二宮町は全国で8番目に昼夜間人口比率が低くなっています。また、真鶴町(74.59)は全国で13番目に昼夜間人口比率が低くなっています。

昼夜間人口比率が100を超える場合、常住地以外の市町村へ通勤・通学している人数(流出人口)より、他の市町村から通勤・通学に来ている人数(流入人口)が多いことを示しています。一方、昼夜間人口比率が100未満の場合は、常住地以外へ通勤・通学している人数の方が多いことを示します。県内では4市町村が流入超過、29市町村が流出超過となっています。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 昼間人口、夜間人口、昼夜間人口比率

「夜間人口」とは、当該地域に常住している人口をいいます。一方、「昼間人口」とは、当該地域の夜間人口から、他の地域へ通勤・通学している者(流出人口)を減じ、他の地域から通勤・通学に来ている者(流入人口)を加えた人口をいいます。

「昼夜間人口比率」とは、夜間人口100人当たりの昼間人口の比率をいいます。

統計情報 国勢調査

平成27年国勢調査 [総務省統計局]
公表日: 2016.2.26~順次公表
公表周期: 5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

市町村・地域名	外国人数		外国人数 国・地域別構成比				昼夜間人口比率	
	2018年		第1位		第2位		2015年	
	値	順位	国・地域	割合	国・地域	割合	値	順位
神奈川県	198,504		中国	32.78%	韓国	13.89%	91.20	
横浜市	91,440	1	中国	41.04%	韓国	14.01%	91.71	16
川崎市	38,811	2	中国	35.82%	韓国	19.38%	88.29	19
相模原市	13,549	3	中国	30.16%	フィリピン	14.13%	88.27	20
横須賀市	5,582	7	フィリピン	26.59%	韓国	14.26%	91.17	17
平塚市	4,779	8	中国	18.33%	フィリピン	16.43%	99.48	5
鎌倉市	1,297	17	韓国	22.90%	中国	17.73%	96.96	7
藤沢市	5,813	6	中国	18.67%	韓国	13.16%	93.23	13
小田原市	2,187	14	フィリピン	22.45%	中国	21.76%	98.17	6
茅ヶ崎市	1,793	16	中国	23.26%	韓国	16.56%	79.25	29
逗子市	514	19	韓国	22.76%	アメリカ	16.93%	80.48	28
三浦市	290	24	ベトナム	18.62%	フィリピン	15.86%	84.35	25
秦野市	3,235	10	中国	16.75%	ベトナム	14.16%	86.50	21
厚木市	6,766	4	中国	18.90%	ベトナム	18.87%	115.58	3
大和市	6,350	5	中国	21.37%	ベトナム	13.34%	84.31	26
伊勢原市	2,070	15	ベトナム	29.71%	中国	18.45%	94.31	12
海老名市	2,383	13	中国	17.42%	ベトナム	11.71%	94.70	11
座間市	2,709	11	中国	23.03%	フィリピン	17.28%	83.67	27
南足柄市	412	20	中国	36.17%	ブラジル	15.53%	86.28	23
綾瀬市	3,333	9	ベトナム	19.50%	ブラジル	16.32%	96.15	8
葉山町	229	25	アメリカ	20.52%	韓国	17.03%	74.96	31
寒川町	715	18	ベトナム	19.72%	ブラジル	14.27%	92.83	14
大磯町	156	27	中国	21.79%	フィリピン	15.38%	79.13	30
二宮町	188	26	中国	19.15%	韓国/ブラジル	11.17%	73.34	33
中井町	304	22	フィリピン	65.79%	ペルー	8.88%	123.84	2
大井町	94	29	中国	41.49%	韓国	11.70%	85.40	24
松田町	74	30	フィリピン	31.08%	中国	18.92%	95.00	10
山北町	69	31	中国	42.03%	フィリピン/ベトナム	14.49%	95.16	9
開成町	120	28	中国	23.33%	ブラジル	16.67%	88.47	18
箱根町	398	21	台湾	26.38%	中国	24.12%	151.48	1
真鶴町	51	32	中国/韓国	25.49%	フィリピン	23.53%	74.59	32
湯河原町	291	23	韓国	22.68%	フィリピン	20.62%	86.45	22
愛川町	2,481	12	ペルー	27.45%	ブラジル	19.39%	101.41	4
清川村	21	33	フィリピン	33.33%	ベトナム/ブラジル	19.05%	92.72	15

横浜地域	91,440	1	中国	41.04%	韓国	14.01%	91.71	3
川崎地域	38,811	2	中国	35.82%	韓国	19.38%	88.29	6
横須賀三浦地域	7,912	5	フィリピン	21.03%	韓国	16.23%	90.55	4
県央地域	37,592	3	中国	21.85%	フィリピン	12.53%	92.54	2
湘南地域	18,749	4	中国	18.39%	ベトナム	12.10%	90.32	5
県西地域	4,000	6	中国	22.58%	フィリピン	22.23%	96.57	1

(1-12, 13 県内外国人統計、1-14 平成27年国勢調査)

注釈

1-12, 13

- 2018年1月1日現在の住民基本台帳上の外国人数。
- 市町村の国・地域別構成比は、県構成比上位13の国・地域について集計したものである。

なお、県構成比上位13の国・地域は以下のとおりである。

中国、韓国、フィリピン、ベトナム、ブラジル、ペルー、ネパール、アメリカ、台湾、インド、タイ、インドネシア、スリランカ

1-14

- 2015年10月1日現在の値。

自市町村内での通勤・通学者割合 1-15
1位 箱根町

指標 2015年10月1日現在、常住する市町村内で通勤・通学者の割合が最も高いのは箱根町で56.48%、最も低いのは二宮町で19.64%です。

箱根町を含む12市町村では、他市町村に通勤・通学者より常住する市町村内で通勤・通学者の人が多くなっています。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 通勤者・通学者

「通勤者」とは、従業の場所が常住の場所（自宅）と異なる就業者をいいます。「通学者」とは非労働力人口のうち、調査週間中、学校に通っていた者をいいます。この場合の学校には、幼稚園や認定こども園は含まれません。

なお、割合の算出方法については、9ページの注釈を参照してください。

他市町村への通勤・通学者割合 1-16
1-17
1位 松田町 1-18

指標 2015年10月1日現在、常住地以外の市町村へ通勤・通学者の割合が最も高いのは松田町で39.95%です。松田町を含む21市町村では、常住する市町村内で通勤・通学者より、他市町村に通勤・通学者の人が多くなっています。

県内の他市町村へ通勤・通学者の割合が最も高いのは大井町で35.37%です。一方、県外へ通勤・通学者の割合が最も高いのは川崎市で26.69%です。

他市町村へ通勤・通学者の内訳をみると、3政令指定都市は県内他市町村へ通勤・通学者より県外へ通勤・通学者の人が多くなっています。政令指定都市を除く30市町村では、県外へ通勤・通学者より、県内の他市町村へ通勤・通学者の人が多くなっています。

県全体としては、県外への通勤・通学者数が全国1位となっており、人口の1割を超えています。

この統計は [平成27年国勢調査]

統計情報 国勢調査

平成27年国勢調査 [総務省統計局]
公表日：2016.2.26～順次公表
公表周期：5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

他市町村からの通勤・通学者数 1-19
1-20
1位 横浜市 1-21

指標 2015年10月1日現在、他市町村からの通勤・通学者数（流入人口）が最も多いのは、横浜市で41万8231人です。

各市町村への他市町村からの通勤・通学者の内訳をみると、県内他市町村からの通勤・通学者の割合が最も高いのは二宮町で97.74%です。一方、県外からの通勤・通学者の割合が最も高いのは相模原市で43.41%です。

県内の全ての市町村で、県外からの通勤・通学者よりも、県内からの通勤・通学者が多くなっています。

この統計は [平成27年国勢調査]

「従業も通学もしていない」者の割合が最も高い

2015年10月1日現在の神奈川県常住人口のうち、従業地・通学地「不詳」を除いた人口に占める従業地・通学地別の人口の割合をみると、「従業も通学もしていない」が37.81%となり、最も高くなっています。

県内33市町村のうち、25市町村で「従業も通学もしていない」割合が一番高くなっています。「自市町村で通勤・通学」の割合が一番高いのが、横浜市、厚木市、箱根町の3市町村、「他市町村へ通勤・通学」の割合が一番高いのが、川崎市、座間市、大井町、松田町、開成町の5市町村です。

平成27年国勢調査 従業地・通学地の表章区分

総数（夜間人口） （常住地による人口）	(a)	調査時に当該地域に常住している人口 (a) = (b) + (c) + (d) + (e) + (j)
従業も通学もしていない	(b)	調査期間中の労働力状態が「完全失業者」「家事」「その他」の者
自宅で従業	(c)	従業地が自宅（自分の居住する家又は家に附属した店・作業場など）の者
自宅外の 自市区町村で 従業・通学	(d)	従業地・通学地が自宅以外で、常住する市町村（21大都市の場合は常住する区）と同一の者
他市区町村で 従業・通学	(e)	従業地・通学地が常住する市町村（21大都市の場合は常住する区）以外の者
自市内他区で 従業・通学	(f)	21大都市のうち、従業地・通学地が同じ市内又は東京特別区部内での他の区の者
県内 他市区町村で 従業・通学	(g)	従業地・通学地が同じ都道府県内の他の市町村の者
他県で 従業・通学	(h)	従業地・通学地が他の都道府県の者
従業・通学 市区町村 「不詳・外国」	(i)	従業地・通学地が常住する市町村（21大都市の場合は常住する区）以外であるが、市区町村名が不明又は外国の者
従業地・通学地 「不詳」	(j)	従業地・通学地が不明の者

*21大都市とは、東京都特別区及び政令指定都市をいいます。

市町村・地域名	自市町村内での 通勤・通学者割合		他市町村への 通勤・通学者割合		うち 県内他市町村		うち 神奈川県外		他市町村からの 通勤・通学者数		うち 県内他市町村		うち 神奈川県外	
	2015年	1-15	2015年	1-16	2015年	1-17	2015年	1-18	2015年	1-19	2015年	1-20	2015年	1-21
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	34.93		27.26		12.91		14.35		人 1,346,150		75.62		24.38	
横浜市	39.52	3	22.77	29	7.09	33	15.68	2	418,231	1	67.62	30	32.38	4
川崎市	30.63	13	34.74	11	8.05	32	26.69	1	244,544	2	57.60	32	42.40	2
相模原市	35.64	7	27.02	25	11.66	30	15.36	3	80,983	5	56.59	33	43.41	1
横須賀市	37.32	5	20.00	32	14.78	29	5.22	20	36,736	9	91.95	19	8.05	15
平塚市	36.86	6	24.28	28	18.77	25	5.51	18	51,968	6	88.69	26	11.31	8
鎌倉市	25.37	23	31.98	21	18.79	24	13.19	4	45,351	7	94.90	14	5.10	20
藤沢市	32.14	10	30.06	22	20.50	23	9.56	9	85,101	3	90.00	23	10.00	11
小田原市	38.85	4	21.72	31	17.06	27	4.65	24	34,861	10	91.81	20	8.19	14
茅ヶ崎市	27.10	19	33.41	15	24.14	20	9.27	10	22,917	13	94.02	15	5.98	19
逗子市	19.68	32	37.57	6	24.87	18	12.70	5	8,899	19	97.63	3	2.37	31
三浦市	31.93	11	26.43	26	22.85	21	3.58	28	4,310	25	96.24	9	3.76	25
秦野市	32.48	9	27.24	24	22.17	22	5.07	22	18,721	16	89.33	25	10.67	9
厚木市	41.00	2	22.76	30	17.10	26	5.65	17	81,271	4	86.94	27	13.06	7
大和市	26.14	21	36.26	9	24.36	19	11.89	6	37,229	8	90.03	22	9.97	12
伊勢原市	30.24	14	33.69	14	27.77	13	5.92	16	24,528	12	93.04	16	6.96	18
海老名市	25.29	24	35.90	10	27.78	12	8.12	12	34,205	11	91.08	21	8.92	13
座間市	22.83	25	39.45	3	28.38	11	11.07	7	21,962	14	89.98	24	10.02	10
南足柄市	27.51	17	32.65	20	29.21	8	3.44	29	7,640	20	95.89	11	4.11	23
綾瀬市	27.49	18	32.77	19	27.49	15	5.27	19	21,390	15	95.90	10	4.10	24
葉山町	22.50	26	36.26	8	25.71	17	10.55	8	3,035	28	97.23	4	2.77	30
寒川町	28.95	16	33.07	17	29.21	9	3.86	27	11,475	18	97.14	5	2.86	29
大磯町	20.88	30	37.10	7	29.73	7	7.38	13	4,534	24	97.71	2	2.29	32
二宮町	19.64	33	38.17	5	31.15	4	7.02	14	2,879	30	97.74	1	2.26	33
中井町	29.15	15	34.13	13	31.02	5	3.11	31	5,500	22	97.02	7	2.98	27
大井町	25.41	22	39.34	4	35.37	1	3.97	26	3,942	26	97.13	6	2.87	28
松田町	20.59	31	39.95	1	34.79	3	5.16	21	3,653	27	95.43	12	4.57	22
山北町	26.38	20	33.25	16	29.06	10	4.19	25	2,971	29	92.33	18	7.67	16
開成町	22.50	27	39.64	2	34.86	2	4.78	23	4,644	23	95.09	13	4.91	21
箱根町	56.48	1	11.62	33	9.14	31	2.48	33	7,309	21	74.25	29	25.75	5
真鶴町	21.74	29	34.33	12	27.54	14	6.79	15	614	33	85.34	28	14.66	6
湯河原町	31.32	12	24.35	27	15.56	28	8.78	11	2,408	31	63.16	31	36.84	3
愛川町	35.19	8	28.86	23	25.73	16	3.13	30	11,558	17	93.02	17	6.98	17
清川村	22.45	28	32.83	18	29.89	6	2.94	32	781	32	96.93	8	3.07	26
横浜地域	39.52	1	22.77	6	7.09	6	15.68	2	418,231	1	67.62	5	32.38	2
川崎地域	30.63	6	34.74	1	8.05	5	26.69	1	244,544	3	57.60	6	42.40	1
相模原三浦地域	31.89	4	25.57	5	17.64	4	7.92	4	98,331	5	94.17	1	5.83	6
県央地域	32.63	3	29.89	3	18.38	3	11.51	3	289,379	2	80.49	4	19.51	3
湘南地域	31.28	5	29.99	2	22.46	1	7.53	5	222,123	4	91.02	2	8.98	5
県西地域	34.25	2	26.40	4	21.69	2	4.70	6	73,542	6	90.58	3	9.42	4

(1-15~21 平成27年国勢調査)

注釈

1-15~21

1) 2015年10月1日現在の値。

1-15

1) 8ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(c)、(d)、(f)の割合を合計したもの。

1-16

1) 8ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(e)の割合から(f)の割合を除いたもの。

1-17

1) 8ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(g)の割合。

1-18

1) 8ページ「従業地・通学地の表章区分」のうち、(h)の割合。

1-19

1) 他市町村から当該市町村へ通勤・通学している人口（流入人口）。ただし、地域別の数値は各市町村の合計を示す。

1-20,21

1) 1-19における県内他市区町村からの通勤・通学者（又は県外からの通勤・通学者）の割合を示す。

平均年齢

1-22

1位 真鶴町

指標 2015年10月1日現在の神奈川県の前平均年齢は45.00歳と、全国の前平均年齢46.40歳を下回っています。

県内市町村で前平均年齢が最も高いのは真鶴町で53.90歳、最も低いのは川崎市で42.80歳です。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 年齢・前平均年齢

年齢は、平成27年9月30日現在の満年齢をもとに集計しています。なお、平成27年10月1日午前零時に生まれた人は0歳としています。

前平均年齢は以下のとおり算出しています。

$$\text{前平均年齢} = \frac{\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}}{\text{各歳別人口の合計(年齢「不詳」を除く)}} + 0.5$$

※前平均年齢を算出する際、平成27年9月30日現在でX歳と0日から364日までの人がいることを考慮し、平均である半年分(0.5歳)を加えているものです。

年少人口(0~14歳人口)

1-23
1-24

割合1位 開成町 増減率1位 藤沢市

指標 2015年10月1日現在の神奈川県の前年少人口割合は12.61%です。2010年と比べると、3.96%の減少となりました。

県内市町村で前年少人口割合が最も高いのは開成町で15.28%、最も低いのは箱根町で7.77%です。

県内市町村で前年少人口の増減率が最も高いのは藤沢市で1.73%、最も低いのは真鶴町で-21.83%となりました。

2010年と比べると、県内市町村では藤沢市のみ前年少人口が増加しており、藤沢市を除く32市町村で減少しています。

この統計は [平成22年・27年国勢調査]

生産年齢人口(15~64歳人口)

1-25
1-26

割合1位 川崎市 増減率1位 開成町

指標 2015年10月1日現在、神奈川県の前生産年齢人口割合は63.52%です。2010年と比べると、4.08%の減少となりました。

県内市町村で前生産年齢人口割合が最も高いのは川崎市で67.73%、最も低いのは湯河原町で51.65%です。

2010年と比べると、県内全ての市町村で前生産年齢人口が減少しています。県内市町村で前生産年齢人口の減少率が最も低いのは開成町で0.90%の減少、最も高いのは箱根町で25.65%の減少となりました。

この統計は [平成22・27年国勢調査]

老年人口(65歳以上人口)

1-27
1-28

割合1位 湯河原町 増減率1位 厚木市

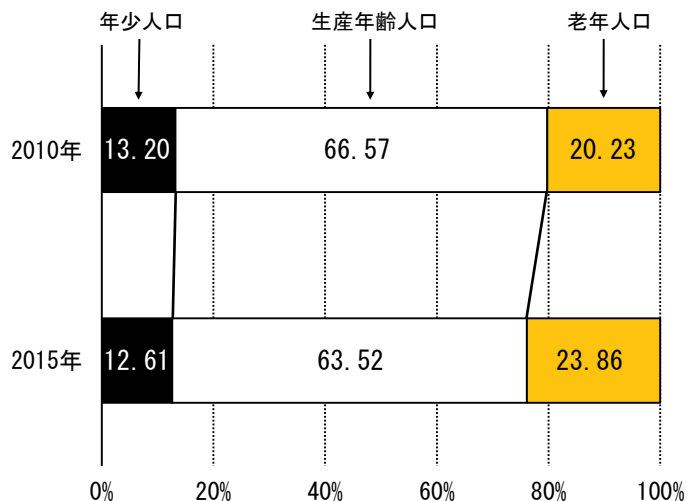
指標 2015年10月1日現在、神奈川県の前老年人口割合は23.86%です。2010年と比べると、18.61%の増加となりました。年少人口、生産年齢人口は減少しましたが、老年人口は増加しています。

県内市町村で前老年人口割合が最も高いのは湯河原町で39.23%、最も低いのは川崎市で19.45%です。

2010年と比べると、県内全ての市町村で前老年人口が増加しています。県内市町村で前老年人口の増減率が最も高いのは厚木市で27.94%の増加、最も低いのは真鶴町で5.30%の増加となりました。

この統計は [平成22年・27年国勢調査]

神奈川県の年齢構造指数の推移



統計情報 国勢調査

平成27年国勢調査 [総務省統計局]

公表日: 2016.2.26~順次公表

公表周期: 5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

市町村・地域名	平均年齢		年少人口割合		年少人口増減率		生産年齢人口割合		生産年齢人口増減率		老年人口割合		老年人口増減率	
	2015年 値	1-22 順位	2015年 値	1-23 順位	2010→2015年 値	1-24 順位	2015年 値	1-25 順位	2010→2015年 値	1-26 順位	2015年 値	1-27 順位	2010→2015年 値	1-28 順位
神奈川県	45.00		12.61		-3.96		63.52		-4.08		23.86		18.61	
横浜市	44.89	26	12.66	12	-3.65	10	63.97	5	-2.95	5	23.38	29	17.56	20
川崎市	42.80	33	12.82	11	-0.77	3	67.73	1	-1.57	2	19.45	33	17.78	19
相模原市	44.84	28	12.43	15	-5.23	11	63.64	6	-5.50	9	23.93	26	23.86	9
横須賀市	47.76	14	11.48	24	-9.95	20	58.78	19	-8.78	19	29.73	14	14.10	23
平塚市	46.02	18	12.34	16	-8.35	17	61.74	10	-7.43	16	25.92	20	20.48	15
鎌倉市	48.76	13	11.95	19	-1.50	6	57.44	24	-5.71	11	30.61	13	9.88	31
藤沢市	44.51	29	13.60	6	1.73	1	62.99	8	-1.77	3	23.41	28	22.00	11
小田原市	47.22	16	11.88	20	-9.63	19	60.28	15	-7.58	17	27.84	16	15.53	22
茅ヶ崎市	45.38	21	13.66	5	-0.67	2	61.36	14	-3.36	6	24.98	23	18.74	18
逗子市	49.19	10	11.80	21	-5.47	12	56.74	25	-6.93	15	31.45	10	10.81	29
三浦市	51.60	4	9.50	30	-16.19	28	54.97	31	-14.05	27	35.52	4	12.94	25
秦野市	45.91	19	12.03	18	-6.19	14	61.63	11	-9.70	20	26.34	18	26.41	3
厚木市	44.14	32	12.88	9	-5.91	13	64.22	2	-5.61	10	22.90	32	27.94	1
大和市	44.38	30	12.88	10	-1.80	7	64.15	3	-1.90	4	22.97	31	21.95	12
伊勢原市	44.84	27	12.61	13	-7.74	16	63.18	7	-5.26	8	24.20	25	23.11	10
海老名市	44.38	31	13.79	3	-1.81	8	62.91	9	-4.20	7	23.30	30	26.10	4
座間市	45.07	23	12.14	17	-8.49	18	64.15	4	-5.97	12	23.71	27	21.32	13
南足柄市	47.58	15	12.44	14	-10.83	21	58.14	21	-7.95	18	29.42	15	19.44	16
綾瀬市	44.91	25	14.10	2	-1.02	4	60.21	16	-6.01	13	25.69	21	25.26	6
葉山町	48.80	12	13.34	8	-6.34	15	55.18	30	-10.34	22	31.48	9	10.52	30
寒川町	45.08	22	13.56	7	-2.33	9	61.48	13	-6.38	14	24.95	24	25.28	5
大磯町	49.37	9	11.67	23	-11.03	23	56.03	28	-14.14	28	32.30	8	13.19	24
二宮町	49.56	7	10.90	26	-12.95	25	56.40	27	-10.98	23	32.70	6	16.47	21
中井町	48.95	11	11.13	25	-15.28	27	57.54	23	-11.60	25	31.33	11	24.23	8
大井町	45.63	20	13.79	4	-19.78	30	60.09	17	-11.18	24	26.13	19	25.10	7
松田町	49.46	8	10.01	27	-10.92	22	58.68	20	-10.05	21	31.31	12	12.12	26
山北町	51.48	5	9.62	29	-14.14	26	55.62	29	-17.58	31	34.75	5	12.09	27
開成町	44.94	24	15.28	1	-1.29	5	59.63	18	-0.90	1	25.08	22	21.06	14
箱根町	51.62	3	7.77	33	-20.78	32	56.46	26	-25.65	33	35.77	3	7.76	32
真鶴町	53.90	1	7.82	32	-21.83	33	53.45	32	-18.05	32	38.73	2	5.30	33
湯河原町	53.27	2	9.12	31	-20.20	31	51.65	33	-15.71	29	39.23	1	11.99	28
愛川町	46.74	17	11.79	22	-16.82	29	61.54	12	-13.62	26	26.66	17	26.74	2
清川村	50.71	6	9.97	28	-11.60	24	57.69	22	-16.76	30	32.34	7	19.17	17

横浜地域		12.66	4	-3.65	3	63.97	2	-2.95	2	23.38	5	17.56	4
川崎地域		12.82	2	-0.77	1	67.73	1	-1.57	1	19.45	6	17.78	3
横須賀三浦地域		11.58	6	-7.79	5	57.89	6	-8.33	5	30.53	1	12.52	6
県央地域		12.72	3	-4.87	4	63.53	3	-5.19	3	23.75	4	24.25	1
湘南地域		12.97	1	-3.21	2	61.92	4	-5.21	4	25.11	3	21.39	2
県西地域		11.64	5	-11.41	6	58.80	5	-9.50	6	29.56	2	15.60	5

(1-22, 23, 25, 27 平成27年国勢調査、1-24, 26, 28 平成22・27年国勢調査)

注釈

1-22, 23, 25, 27

1) 2015年10月1日現在の値。

1-23, 25, 27

1) 割合は分母(人口総数)から不詳を除いて算出している。

1-24, 26, 28

1) いずれも10月1日現在の値。

2) 端数を含めた値の大小比較により順位を設定している。

一般世帯数

1-29

1位 横浜市

指標 2015年10月1日現在、神奈川県的一般世帯数は396万5190世帯です。県内市町村で一般世帯数が最も多いのは横浜市で163万5805世帯です。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 世帯、一般世帯

本ページは国勢調査の区分によります。詳細は右ページ注釈を参照してください。国勢調査では世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分しています。このページで掲載する内容は、一般世帯の内訳項目です。

単独世帯割合

1-32

1位 箱根町

指標 2015年10月1日現在、神奈川県単独世帯割合は35.50%です。

県内市町村で単独世帯割合が最も高いのは箱根町で54.75%、最も低いのは中井町で19.99%です。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 単独世帯

単独世帯とは、世帯人員が1人の世帯のことです。

単独世帯割合＝単独世帯数／一般世帯数×100

*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

1世帯当たり人員

1-30

1位 中井町

指標 2015年10月1日現在、神奈川県1世帯当たり人員は2.26人です。

県内市町村で1世帯当たり人員が最も多いのは中井町で2.76人、最も少ないのは箱根町で1.84人です。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 1世帯当たり人員

1世帯当たり人員（一般世帯の平均人員）
＝一般世帯人員／一般世帯数

高齢単身世帯割合

1位 湯河原町

1-33

高齢夫婦世帯割合

1位 二宮町

1-34

指標 2015年10月1日現在、神奈川県の高齢単身世帯割合は10.06%です。10世帯に1世帯は、65歳以上の人1人のみの世帯となっています。

県内市町村で高齢単身世帯割合が最も高いのは湯河原町で19.51%、最も低いのは開成町で7.19%です。

神奈川県の高齢夫婦世帯割合は10.79%です。10世帯に1世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの世帯となっています。

県内市町村で高齢夫婦世帯割合が最も高いのは二宮町で17.41%、最も低いのは川崎市で7.39%です。川崎市を除く32市町村で、高齢夫婦世帯割合が10%を超えています。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 高齢単身世帯・高齢夫婦世帯

高齢単身世帯とは、65歳以上の人1人のみの一般世帯をいいます。高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいいます。

高齢単身世帯割合＝高齢単身世帯数／一般世帯数×100

高齢夫婦世帯割合＝高齢夫婦世帯数／一般世帯数×100

*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

核家族世帯割合

1-31

1位 葉山町

指標 2015年10月1日現在、神奈川県核家族世帯割合は58.39%です。

県内市町村で核家族世帯割合が最も高いのは葉山町で68.49%、最も低いのは箱根町で36.56%です。箱根町を除く32市町村で、核家族世帯割合が50%を上回っています。

この統計は [平成27年国勢調査]

用語 核家族世帯、核家族世帯割合

核家族世帯とは一般世帯のうち次のものを示します。

- (1) 夫婦のみの世帯
- (2) 夫婦と子供から成る世帯
- (3) 男親と子供から成る世帯
- (4) 女親と子供から成る世帯

核家族世帯割合＝核家族世帯数／一般世帯数×100

*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

統計情報 国勢調査

平成27年国勢調査 [総務省統計局]

公表日：2016.2.26～順次公表

公表周期：5年ごと

日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

市町村・地域名	一般世帯数		1世帯当たり 人員		核家族 世帯割合		単独世帯割合		高齢单身 世帯割合		高齢夫婦 世帯割合	
	2015年 値	1-29 順位	2015年 値	1-30 順位	2015年 値	1-31 順位	2015年 値	1-32 順位	2015年 値	1-33 順位	2015年 値	1-34 順位
神奈川県	3,965,190		2.26		58.39		35.50		10.06		10.79	
横浜市	1,635,805	1	2.24	30	59.11	24	35.95	3	10.44	15	10.71	31
川崎市	689,886	2	2.11	32	50.98	32	42.71	2	8.40	28	7.39	33
相模原市	310,833	3	2.28	27	58.16	28	35.46	4	9.43	23	10.94	29
横須賀市	165,410	5	2.37	18	62.78	15	29.40	14	12.93	6	14.50	13
平塚市	107,268	6	2.36	20	60.34	18	32.36	12	10.12	17	11.84	22
鎌倉市	72,916	11	2.33	23	63.97	13	29.33	16	12.64	9	15.27	11
藤沢市	179,957	4	2.32	24	60.80	17	33.36	11	10.12	18	11.15	28
小田原市	79,007	10	2.41	17	58.80	26	31.12	13	11.50	12	11.80	23
茅ヶ崎市	97,817	8	2.42	15	66.22	7	28.00	18	10.13	16	13.05	16
逗子市	24,083	17	2.36	21	67.47	4	27.02	20	15.04	4	15.92	8
三浦市	17,513	19	2.50	11	61.67	16	25.86	24	14.62	5	15.95	6
秦野市	69,615	12	2.35	22	58.21	27	33.82	10	9.43	22	12.53	19
厚木市	95,655	9	2.32	26	57.49	30	35.21	6	7.91	30	10.78	30
大和市	101,931	7	2.25	29	58.97	25	35.46	5	10.09	19	10.31	32
伊勢原市	43,033	15	2.32	25	57.72	29	35.11	7	9.11	24	11.16	27
海老名市	53,368	14	2.41	16	64.78	9	29.37	15	8.34	29	12.17	21
座間市	55,873	13	2.28	28	60.10	20	34.14	9	9.69	21	11.18	26
南足柄市	16,218	20	2.62	5	64.71	11	22.71	26	9.77	20	15.17	12
綾瀬市	33,308	16	2.49	12	66.10	8	26.35	23	8.90	27	13.83	14
葉山町	12,561	22	2.51	10	68.49	1	22.09	29	11.99	11	16.85	3
寒川町	18,719	18	2.52	8	64.73	10	26.40	22	8.91	26	12.44	20
大磯町	12,256	23	2.53	7	66.56	5	22.52	27	11.49	13	16.89	2
二宮町	11,164	24	2.49	13	67.82	2	23.34	25	12.67	7	17.41	1
中井町	3,352	31	2.76	1	64.11	12	19.99	33	7.91	31	15.93	7
大井町	6,151	27	2.74	2	63.34	14	22.19	28	7.80	32	12.86	18
松田町	4,402	29	2.52	9	59.40	23	26.97	21	12.65	8	13.29	15
山北町	3,898	30	2.72	3	60.01	22	20.81	32	12.31	10	15.62	10
開成町	6,161	26	2.69	4	66.29	6	22.04	30	7.19	33	11.57	24
箱根町	6,077	28	1.84	33	36.56	33	54.75	1	15.58	3	11.26	25
真鶴町	3,064	32	2.36	19	60.08	21	27.51	19	17.69	2	16.64	4
湯河原町	10,724	25	2.23	31	54.22	31	34.88	8	19.51	1	15.91	9
愛川町	16,046	21	2.49	14	60.16	19	28.17	17	8.99	25	12.98	17
清川村	1,119	33	2.59	6	67.65	3	21.18	31	11.17	14	16.09	5

横浜地域	1,635,805	1	2.24	5	59.11	4	35.95	2	10.44	3	10.71	5
川崎地域	689,886	2	2.11	6	50.98	6	42.71	1	8.40	6	7.39	6
横須賀三浦地域	292,483	5	2.37	2	63.64	1	28.66	6	13.09	1	15.00	1
県央地域	668,133	3	2.31	4	59.34	3	34.18	3	9.21	5	11.14	4
湘南地域	539,829	4	2.36	3	61.52	2	31.69	4	9.99	4	12.11	3
県西地域	139,054	6	2.44	1	58.91	5	29.89	5	11.85	2	12.88	2

(1-29~34 平成27年国勢調査)

注釈

1-29~1-34

1) 2015年10月1日現在の値。

国勢調査における世帯の種類。「一般世帯」と「施設等の世帯」

世帯は次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分される。

一般世帯

ア) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる单身者。ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めている。

イ) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りるの单身者又は下宿屋などに下宿している单身者。

ウ) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している单身者。

施設等の世帯

- (1) 寮・寄宿舎の学生・生徒（学校の寮・寄宿舎で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり）
- (2) 病院・療養所の入院者（病院・療養所などに、すでに3か月以上入院している入院患者の集まり）
- (3) 社会施設の入所者（老人ホーム、児童保護施設などの入所者の集まり）
- (4) 自衛隊営舎内居住者（自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者の集まり）
- (5) 矯正施設の入所者（刑務所及び拘留所の被収容者並びに少年院及び婦人補導院の在院者の集まり）
- (6) その他（定まった住居を持たない单身者や陸上に生活の本拠（住所）を有しない船舶乗組員など）

なお、世帯の単位は、原則として上記(1)~(3)は棟ごと、(4)は中隊又は艦船ごと、(5)は建物ごと、(6)は一人一人である。

面積

1位 横浜市

1-35
1-36

指標 2017年10月1日現在、神奈川県のア面積は2416.17km²です。県内市町村で面積が最も大きいのは横浜市で437.56km²、最も小さいのは開成町で6.55km²です。横浜市が神奈川県の面積の18.11%を占めているのに対し、開成町は0.27%となっています。

この統計は [平成29年度版県勢要覧][平成29年全国都道府県市区町村別面積調]

林野面積

面積1位 山北町 割合1位 清川村

1-37
1-38

指標 2015年2月1日現在、神奈川県のア林野面積は938.21km²です。県内市町村で林野面積が最も大きいのは山北町で198.32km²です。一方、開成町は林野面積がありません。

神奈川県のア林野面積割合は38.83%です。県内市町村で林野面積割合が最も高いのは清川村で89.42%です。

県内市町村のうち、11市町村で林野面積割合が50%を超える一方、11市町村で林野面積割合が10%未満となっています。

この統計は [平成29年度版県勢要覧][2015年農林業センサス]

用語 林野面積

林野面積とは、現況森林面積と森林以外の草生地のア面積を合わせたものです。

林野面積割合＝林野面積／県・各市町村のア面積

可住地面積

面積1位 横浜市 割合1位 開成町

1-39
1-40

指標 2017年の神奈川県の可住地面積は1470.93km²です。

県内市町村で可住地面積が最も大きいのは横浜市で400.10km²、最も小さいのは、真鶴町で3.49km²です。

神奈川県の可住地面積割合は、60.88%です。

県内市町村で可住地面積割合がもっとも高いのは開成町で100%、最も低いのは清川村で10.58%です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧]

用語 可住地面積

可住地面積とは、各市町村のア面積から林野面積と主要湖沼面積を除いたものです。なお、神奈川県の主要湖沼は芦ノ湖(7.03km²)です。

可住地面積割合＝可住地面積／県・各市町村のア面積



神奈川のア気象(2017年)

*「夏日」は最高気温が25℃以上、冬日は最低気温が0℃未満であった日数を示しています。

	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	夏日 (日)	冬日 (日)	平均風速 (m/s)	日照時間 (h)	年間降水量 (mm)
海老名	15.5	36.5	-6.3	135	53	2.1	2058.3	1568.0
横浜	16.3	35.1	-1.2	126	4	3.5	2174.6	1628.5
辻堂	16.1	33.8	-3.4	113	17	3.0	2145.9	1360.5
小田原	15.3	36.0	-4.9	126	38	1.7	2113.8	1740.0
三浦	16.0	34.4	-2.2	107	7	3.4	2241.8	1661.5

この統計は [平成29年(2017年)神奈川県の気象概況]

統計情報 県勢要覧

平成29年度版県勢要覧
[県統計センター]
公表日：2018.3 公表周期：毎年
神奈川県の土地、人口、経済、
社会、文化などの各分野にわたる
統計を収録したものです。

統計情報 全国都道府県市区町村面積調

平成29年全国都道府県市区町村面積調
[国土交通省国土地理院]
公表日：2018.1.31 公表周期：毎年
測量法第12条の基本測量に関する長期計画
に基づき、毎年10月1日時点の全国の都道府
県市区町村別の面積を公表するものです。

統計情報 農林業センサス

2015年農林業センサス [農林水産省]
公表日：概数値2015.11.27～順次公表
公表周期：5年ごと
農林業・農山村の生産構造、就業構造等を
明らかにすることを目的に、全ての農林業経
営体等を調査対象として実施しています。

市町村・地域名	面積		面積割合		林野面積		林野面積割合		可住地面積		可住地面積割合	
	2017年 値	1-35 順位	2017年 値	1-36 順位	2015年 値	1-37 順位	2015年 値	1-38 順位	2017年 値	1-39 順位	2017年 値	1-40 順位
	km ²		%		km ²		%		km ²		%	
神奈川県	2,416.17				938.21		38.83		1,470.93		60.88	
横浜市	437.56	1	18.11	1	37.46	8	8.56	23	400.10	1	91.44	11
川崎市	143.01	4	5.92	4	6.68	18	4.67	29	136.33	3	95.33	5
相模原市	328.91	2	13.61	2	188.85	2	57.42	7	140.06	2	42.58	27
横須賀市	100.82	7	4.17	7	29.97	10	29.73	17	70.85	5	70.27	17
平塚市	67.82	13	2.81	13	4.95	22	7.30	26	62.87	8	92.70	8
鎌倉市	39.67	16	1.64	16	12.85	15	32.39	16	26.82	12	67.61	18
藤沢市	69.57	12	2.88	12	5.76	21	8.28	25	63.81	7	91.72	9
小田原市	113.81	5	4.71	5	42.26	7	37.13	14	71.55	4	62.87	20
茅ヶ崎市	35.70	18	1.48	18	2.98	26	8.35	24	32.72	11	91.65	10
逗子市	17.28	26	0.72	26	8.76	17	50.69	10	8.52	28	49.31	24
三浦市	32.05	20	1.33	20	6.03	20	18.81	21	26.02	15	81.19	13
秦野市	103.76	6	4.29	6	54.16	5	52.20	8	49.60	9	47.80	26
厚木市	93.84	8	3.88	8	26.49	12	28.23	19	67.35	6	71.77	15
大和市	27.09	21	1.12	21	1.21	29	4.47	30	25.88	16	95.53	4
伊勢原市	55.56	14	2.30	14	20.84	13	37.51	13	34.72	10	62.49	21
海老名市	26.59	22	1.10	22	0.51	31	1.92	31	26.08	14	98.08	3
座間市	17.57	25	0.73	25	0.95	30	5.41	28	16.62	21	94.59	6
南足柄市	77.12	10	3.19	10	52.06	6	67.51	6	25.06	17	32.49	28
綾瀬市	22.14	23	0.92	23	1.58	27	7.14	27	20.56	18	92.86	7
葉山町	17.04	28	0.71	28	8.78	16	51.53	9	8.26	29	48.47	25
寒川町	13.34	30	0.55	30	0.25	32	1.87	32	13.09	23	98.13	2
大磯町	17.18	27	0.71	27	4.91	23	28.58	18	12.27	24	71.42	16
二宮町	9.08	31	0.38	31	1.54	28	16.96	22	7.54	30	83.04	12
中井町	19.99	24	0.83	24	6.60	19	33.02	15	13.39	22	66.98	19
大井町	14.38	29	0.60	29	3.41	25	23.71	20	10.97	25	76.29	14
松田町	37.75	17	1.56	17	28.52	11	75.55	3	9.23	27	24.45	30
山北町	224.61	3	9.30	3	198.32	1	88.30	2	26.29	13	11.70	32
開成町	6.55	33	0.27	33	-	-	-	-	6.55	32	100.00	1
箱根町	92.86	9	3.84	9	68.49	3	73.76	5	17.34	20	18.67	31
真鶴町	7.05	32	0.29	32	3.56	24	50.50	11	3.49	33	49.50	23
湯河原町	40.97	15	1.70	15	30.60	9	74.69	4	10.37	26	25.31	29
愛川町	34.28	19	1.42	19	15.18	14	44.28	12	19.10	19	55.72	22
清川村	71.24	11	2.95	11	63.70	4	89.42	1	7.54	31	10.58	33

横浜地域	437.56	3	18.11	3	37.46	5	8.56	5	400.10	1		
川崎地域	143.01	6	5.92	6	6.68	6	4.67	6	136.33	6		
横須賀三浦地域	206.86	5	8.56	5	66.39	4	32.09	3	140.47	5		
県央地域	621.66	2	25.73	2	298.47	2	48.01	2	323.19	2		
湘南地域	372.01	4	15.40	4	95.39	3	25.64	4	276.62	3		
県西地域	635.09	1	26.28	1	433.82	1	68.31	1	194.24	4		

(1-35~40 平成29年度版県勢要覧)

統計情報 神奈川県の気象概況

平成29年(2017年)神奈川県内の気象概況[横浜地方気象台]
公表日:2018.2.8 公表周期:毎年
横浜地方気象台及び神奈川県内の地域気象観測所(アメダス)のデータをまとめたものです。年の概況のほか、月の概況を毎月公表しています。また、合わせて地震概況についても取りまとめています。

注釈

1-35, 36

- 1) 2017年10月1日現在の値。
- 2) 面積は全国都道府県市区町村別面積調による。なお、平塚市、茅ヶ崎市、大磯町の数値は境界未定のため参考値である。

1-37, 38

- 1) 林野面積は、農林業センサス(農山村地域調査)(平成27年2月1日現在)による。

人口・自然編からのクイズ かながわ Q&A



- Q 1 横浜市の人口は、次のどの都道府県と同じくらい？（2018年4月1日現在）
- ① 沖縄県
 - ② 静岡県
 - ③ 高知県
- Q 2 県内市町村で人口密度が最も高いのは川崎市ですが、2番目はどこ？（2018年4月1日現在）
- ① 綾瀬市
 - ② 横浜市
 - ③ 大和市
- Q 3 県内市町村で男性の割合が最も高いのはどこ？（2018年4月1日現在）
- ① 三浦市
 - ② 愛川町
 - ③ 厚木市
- Q 4 男女ともに平均寿命が最も長い県内市町村の組み合わせはどれ？（2015年）
- ① 鎌倉市、開成町
 - ② 茅ヶ崎市、箱根町
 - ③ 小田原市、葉山町
- Q 5 県内市町村で人口1000人当たりの婚姻率が最も高いのはどこ？（2016年）
- ① 川崎市
 - ② 大和市
 - ③ 伊勢原市
- Q 6 県内市町村で昼夜間人口比率（夜間人口を100とした場合の昼間人口）が最も高いのはどこ？（2015年10月1日現在）
- ① 横浜市
 - ② 鎌倉市
 - ③ 箱根町
- Q 7 居住地以外の市町村へ通勤・通学している人の割合が最も高い県内市町村はどこ？（2015年10月1日現在）
- ① 逗子市
 - ② 寒川町
 - ③ 松田町
- Q 8 2010年から2015年にかけて年少人口（0～14歳の人口）が増えた唯一の県内市町村はどこ？
- ① 相模原市
 - ② 藤沢市
 - ③ 二宮町
- Q 9 県内市町村で最も面積が大きいのは横浜市ですが、2番目に大きいのはどこ？（2017年10月1日現在）
- ① 小田原市
 - ② 相模原市
 - ③ 山北町
- Q 10 県内地域で最も林野面積割合が高いのはどこ？（2015年2月1日現在）
- ① 横須賀地域
 - ② 県央地域
 - ③ 県西地域



答えは78ページ